

第104号 2024年10月1日

発行所/ 神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360  
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <https://www.fukusei.jp/>



## 《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として  
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

## パリ オリンピック・パラリンピック開催

事務部長 森田秀一郎

今夏、パリオリンピック・パラリンピックが開催されました。今回は有観客での開催となりました。やはり無観客と有観客では会場の雰囲気は断然違い、観客の声援は出場した選手の大きな力になりました。そして、その選手の活躍で私たちは感動と勇気ももらいました。日本人選手の活躍はもちろんですが、特に表彰台等での各国の選手同士の国を超えた触れ合いに感動しました。オリンピック・パラリンピックの競技には、個人競技と団体競技がありますが、わたしはチームワークのすばらしさを感じることができる団体競技に関心があります。チームワークで良い結果を出すことは、スポーツ以外にも求められます。当法人も現在、病院（ホスピス、介護医療院、外来）と在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、小規模多機能型居宅介護事業所、復生記念館を運営しています。各施設内でのチームワークはもちろんですが、法人間での連携を充実させます。更には外部の医療・介護・福祉施設ともしっかりと連携し、地域医療・介護・福祉に貢献できるようにしていきます。次回のオリンピック・パラリンピックは、ロサンゼルスで開催予定です。皆様、また4年後の素晴らしいドラマに期待しましょう。

# 防災について

事務局 後藤和也

## 【防災研修】

今年度の防災研修は、御殿場市危機管理課の山口氏をお招きし、大規模地震発生に備えた対応と富士山火山噴火発生時の御殿場市の対応についてご説明をいただきました。

研修の中で、8月に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表された時、皆さんはどのような準備をされましたか？という質問がありました。

準備の例として、①発表後から一週間は、避難先、非常持ち出し品、備蓄の確認をして地震発生への備えをする。②発表後から二週間は地震発生に注意しながら通常の生活を送る。というのがあります。テレビやインターネットから情報を得るだけでなく、地震が起こっても停電しても対応できる準備しておくことが大切です。

富士山火山噴火発生時の御殿場市の対応については、今年更新された火口の想定と溶岩流の流下パターンについてお話いただきました。

更新された流下パターンを見るまで、当院は久保川や黄瀬川があるから大丈夫だろうと考えていました。しかし、火口ができる場所によっては当院にも溶岩が流れてくることに驚きました。

詳細な情報は御殿場市のホームページから確認ができますので、噴火注意報や警報が出てから調べるよりも、皆さんがお住まいの地域にいつ溶岩流が流れてくるかを確認されてみてはいかがでしょうか。



## 【防災訓練】

今年の防災訓練は、9月6日（金）に行いました。例年、私は浄水装置の点検を行っていますが、今回は委託業者による炊き出し訓練のサポートに回りました。

これまで全体的な流れは知っていても、手伝うのは配膳程度であった為、改めて順序の確認や衛生面での気を付けるポイントを学ぶことが出来ました。

外来・病棟スタッフは、非常用電源の利用方法に加え、消火器などの消防設備、コードリールやヘルメットなど防災設備の再確認を行いました。

今年は石川県や宮崎県、神奈川県でも大きな地震がありました。いつ災害が発生しても対応できるように備えていきたいと思えます。





## 当院での医療安全活動

薬局 永井祐佳

当院では、医療安全地域連携を実施しております。今年で3年目となるこの連携は、御殿場市にある富士病院さんが中心となり、御殿場石川病院さんと富士小山病院さんと当院で実施しております。

9月12日に医療安全連携相互ラウンドとし、各病院の医療安全管理者をはじめとした医療安全に関わる方が当院に来られ、様々なチェック事項の確認と院内ラウンドが実施されました。ご指摘いただいたことは早急に改善し、お褒め頂いたことは継続していきます。また、今年も11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を医療安全推進週間と定め、病院全体で医療安全活動に取り組んでいきます。この活動内容も医療安全推進週間に掲示する予定なので、皆さん病院に来られた際には、ご覧ください。

この他にも、当院では医療安全窓口を設置しており、患者さんやご家族からの相談も承っておりますので、お気軽にお声かけ下さい。

これからも皆さんと一緒に良い医療安全活動を継続していきます。



## 高齢者虐待防止における地域連携について

看護部長 杉山美貴子

令和6年度介護報酬改定において高齢者虐待防止の推進により、「虐待の発生又はその再発を防止するための委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者を定める等が講じられていない場合には、基本報酬を減算する」と告示されました。神山復生病院介護医療院でも、毎月1回虐待防止推進委員会を開催しており、虐待につながるような案件が無いかを話し合い、虐待がおきないよう情報を共有しております。しかし、この大切な委員会も時間の経過と共に少しマンネリ化し、活動が効果的でないと感じるようになりました。そこで、地域にある富士山麓病院介護医療院さんと連携し、院内だけの虐待防止ではなく、地域を巻き込んだ虐待防止を共に考えていくことを提案したところご快諾いただき、一緒に活動していくことになりました。現在、両委員会にお互いの委員会メンバーが参加し情報共有を行うと共に、議題について意見を交わす等の活動を行っています。虐待の多くは、施設内で起こる以上に在宅において起こることが統計上明らかです。私たちの委員会活動が地域の中でお役に立てるのかわかりませんが、富士山麓病院介護医療院さんと共に、高齢者虐待防止活動にこれからも努力していきたいと考えています。



## 今回のおすすめ

### 『体力づくりを始めてみませんか』

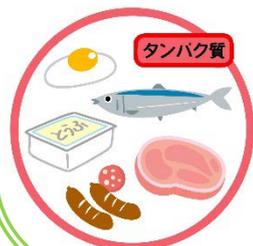


50代、60代で、「運動しましょう」と言われても何をどう始めたらわからない方も多いですね。50代から特に意識したいのは運動そのものよりも「筋肉」の維持、「筋トレ」で筋力低下トラブルを予防することが大切です。

私(60代)は4月からジムに通い始めました。週に2回を目標に通っています。ストレス解消や良い習慣になればと続けています。約半年で得られた効果は「立ったまま靴下が履けるようになった」「背筋を伸ばすため常に腹圧を意識すること」です。寝たきりにならないよう健康寿命を伸ばすために続けていきたいと思えます。

また、日常生活や運動を行うためには栄養も大切です。エネルギーのほかにたんぱく質を十分摂取しましょう。肉類、魚介類、卵、大豆製品、乳製品にはたんぱく質が多く含まれます。色々な食材をバランスよく摂るように心がけましょう。

「食欲の秋」は、たくさんの美味しい食材と出会うことのできる季節です。旬を迎える秋の味覚を楽しんでみてはいかがでしょうか。紹介者(栄養課) 鈴木一枝



## 外来担当表

緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	内科(中原)	内科(江藤) 皮膚科(宗田)	休診	内科(江藤)	内科(若杉)	内科(第1.3.4中尾) (第2.5岡部) 皮膚科	休診
午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診	

インフルエンザワクチン・コロナワクチンの接種の予約を承っております。

## 皮膚科外来予定表

11月以降の診察はHPにてお知らせいたします。  
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。



宗田昂己 医師	10月 1日(火)・8日(火)・15日(火)・22日(火)・29(火)
太田有史 医師	10月 5日(土)
太田有美 医師	10月12日(土)
太田真由美医師	10月19日(土)
福地 修 医師	10月26日(土)

皮膚科外来は、毎週火曜日と土曜日の午前に行っています。



## くすりのあれこれ VOL.2

10月になり当院でもインフルエンザワクチンの接種が開始になりました。

今年は、新たに鼻インフルエンザ生ワクチンが販売になりました。注射が苦手な方には朗報ですが、実はこのお薬は接種年齢制限(2歳~49歳)があります。残念ながら当院では採用していないため、例年同様の注射でのワクチン接種です。

また、この10月からコロナワクチンの接種が始まりました。今回、5種類のコロナワクチンが販売されていますが、当院では武田薬品から発売された「ヌバキソビッド筋注用」を採用しています。このワクチンは、今まで多くの方が接種されたmRNAワクチンとは異なり、組換えタンパクワクチン(不活化ワクチン)で、副反応の1つである発熱の発現が低いとされています。

インフルエンザワクチン・コロナワクチン共に、水曜日を除く平日午前中までの予約になります。ご希望であれば、インフルエンザワクチンとコロナワクチンの同時接種も承っております。

ご希望の方は、当院までお電話下さい。ご予約お待ちしております。



## 編集後記

今年の夏は、とても暑かったですね。避暑地と呼ばれていた御殿場は、どこに消えてしまったのでしょうか?皆さんがかえでの森を手にかえる頃には、少し涼しくなり秋を感じられると良いのですが...



芸術の秋・食欲の秋、皆様は、どのような秋を楽しまれるのでしょうか。個人的には、秋の夜長に読書を楽しみたいです。次回号もお楽しみに。

